
九州運輸局メールマガジン 平成 28 年 6 月 30 日 第 335 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けしています。

次の発行日は平成 28 年 7 月 14 日（木）です。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・石井国土交通大臣が平成 28 年熊本地震被災現場を視察～南阿蘇鉄道関係者と意見交換も～
- ・「めざせ！海技者 セミナー in FUKUOKA」を開催～船員をめざす方への企業説明会・就職面接会～
- ・平成 28 年度小型漁船安全講習会等開催～小型漁船の安全運航に向けて～
- ・中学生に職場体験と海事施設見学会を開催～普段は入れない世界を見聞～
- ・クルーズ振興を九州の観光復興に～平成 28 年度九州クルーズ振興協議会総会開催～
- ・わが国観光施策の現状と今後の取組み～蝦名観光庁次長が九州運輸コロキウムで講演～

2 お知らせ

- ・九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》にアクセス！～「今こそ、高速バスで行こう！キャンペーン」実施中～
- ・「2016 年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」作品募集中～貿易を担う「海運」、「船」のことを調べた新聞、大募集～
- ・7 月 18 日「海の日」は旅客船に乗って冒険しよう～九州・下関の 3 航路で小学生運賃の無料サービス、2 航路でオリジナルグッズをプレゼント～
- ・平成 28 年度「国土と交通に関する図画コンクール」作品募集中～鉄道や駅、自動車、船や港、観光地の様子などの図画を待っています～
- ・「第 10 回『私とみてつ』小学生新聞コンクール」、作品募集は明日 7 月 1 日から
- ・「海フェスタ東三河」が愛知県で開催されます～7 月 16 日から 31 日まで～
- ・広報誌「国土交通」（2016.6～7）138 号が発行されました～特集〈明日の日本を支える観光ビジョン「観光先進国」への取組み〉～

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場レポート

- ◆石井国土交通大臣が平成 28 年熊本地震被災現場等を視察～南阿蘇鉄道関係者と意見交換も～

◎石井国土交通大臣が熊本地震被災現場等の視察のため、6 月 18 日に熊本入りしました。石井大臣の被災地入りは 3 度目になります。

◇概要

・6月18日(土)、熊本県内にて被災・復旧状況を視察、石井国土交通大臣ほか、国土交通省、九州運輸局、九州地方整備局職員

◇内容

①応急仮設住宅(甲佐町、益城町)

- ・建設状況確認
- ・白旗仮設団地入居者と意見交換
- ・蒲島熊本県知事と会談

②県道28号線

- ・被災、復旧状況確認

③南阿蘇鉄道

- ・立野橋梁、第一白川橋梁、長陽大橋の被災状況確認
- ・南阿蘇鉄道関係者(草村社長(高森町長)ほか)と意見交換

④石井大臣の会見(南阿蘇鉄道関係)

- ・改めて被害の大きさを実感し、復旧への決意を新たにしました。
- ・交通弱者にとってなくてはならない路線。鉄道事業者、地元の自治体と連携しながらどういった支援が可能か検討して参りたい。

◇九州運輸局からのメッセージ

交通事業者、地方自治体、地域の方々の声に耳を傾け、国土交通本省や観光庁、関係機関とも連携し、被災地の一刻も早い復興に努めて参ります。

この度の石井国土交通大臣の熊本地震被災現場視察は、国土交通省ホームページのトップページ「トピックス 国土交通省の活動」にも掲載されています。

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_004816.html

◇九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーはこちらのURLからどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_335_1.pdf

(総務部 広報対策官)

◆「めざせ!海技者 セミナー in FUKUOKA」を開催

～船員をめざす方への企業説明会・就職面接会～

◎九州運輸局では九州地区船員対策連絡協議会と公益財団海技教育財団の協賛を得て、船員をめざす方への企業説明会・就職面接会「めざせ!海技者 セミナー in FUKUOKA」を開催しました。

〈九州地区船員対策連絡協議会〉

内航海運が抱えている船員労働力の不足問題に対応するため、九州地方海運組合連合会及び全国内航タンカー海運組合西部支部並びに九州運輸局により構成された協議会。

◇概要

・6月17日(金)、福岡合同庁舎新館(福岡市博多区)、海運事業者34社1法人、海上技術学校2校、水産系高等学校5校

◇内容

①「内航船員就職セミナー」

- ・船員として船の仕事を経験した方を講師に迎え、「船員の仕事と暮らし」について自身の経験を基にわかりやすく説明するとともに、現在船員として働いている生徒たちの先輩の活躍ぶりなどを紹介
- ・182人が参加

②「企業説明会・就職面接会」

- ・234人が参加（過去最高）

◇九州運輸局からのメッセージ

内航海運業界における船員不足の深刻化を反映し、セミナー参加企業は募集当日に規定枠が一杯となり、急遽会場を増設して実施しました。また、どの企業ブースでも順番待ちが続く大盛況で、会場内は将来に向けての進路決定の情報を得ようとする生徒等と、優秀な船員を確保したい企業の双方の熱気、活気に溢れていました。今後もより多くの船員の確保、育成をめざし、セミナー等の開催に取り組んで参ります。

◇九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーはこちらの URL からどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_335_2.pdf
（海事振興部 船員労政課）

◆平成28年度小型漁船安全講習会等開催

～小型漁船の安全運航に向けて～

◎九州運輸局では第七管区海上保安本部福岡海上保安部と共催で、小型漁船の事故減少に向け、小型漁船安全講習会を開催しました。

◇概要

・6月21日（火）、宗像漁港協同組合鐘崎本所会議室（福岡県宗像市鐘崎）、小型まき網漁業3社（3ヶ統（3船団））31名、漁協等関係者3名の計34名が参加

◇講習会内容

- ①小型漁船の海難事例について（福岡海上保安部交通課 主任航行管理官）
- ②小型漁船の安全対策について（九州運輸局海上安全環境部 主任船舶検査官）
- ③小型漁船に係る船員災害防止について（九州運輸局海上安全環境部 運航労務監理官）
- ④船員法の手続きについて（九州運輸局海上安全環境部船員労働環境課 専門官）

◇九州運輸局からのメッセージ

海難は、人ごとでなく、いつ自分の身に起きるかわからないことから、参加の皆さんが安全運航に関する対策はもちろんの事、万一の時の対処方法などについて、熱心に耳を傾ける姿を通じて、安全に対する意識の高さがうかがわれました。

また6月17日（金）には、の上対馬総合センター（長崎県対馬市）で開催された対馬地区漁協青壮年部連絡協議会の平成28年度定期総会でも、今回と同様に九州運輸局運航労務監理官による講習を実施しました。これからの地域漁業を担う青壮年部の方々への講習と云うことで、質疑も含め、短時間ながら力のこもった講習となりました。

今後も関係機関と連携し、漁船の海難や災害の防止を目的とした講習会を開催していきます。

◇九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーはこちらの URL からどうぞ。
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_335_3.pdf
(海上安全環境部 運航労務監理官、船舶検査官、船員労働環境課)

◆中学生に職場体験と海事施設見学会を開催
～普段は入れない世界を見聞～

◎九州運輸局福岡運輸支局と若松海事事務所では、海事産業が将来にわたり発展するよう海事産業の次世代を担う青少年に海の仕事の魅力や重要性などに理解を深めてもらうため、合同で中学生に対して職場体験、海事施設見学会を開催しました。

◇職場体験概要

・6月10日(金)、阪九フェリー株式会社のカーフェリー「つくし」総トン数13,353トン)、北九州市立門司中学校2年生13人が参加

◇体験内容

①フェリーでの船員体験

・機関室、車輛甲板、客室、ブリッジを巡り、各部所の担当者から仕事内容等の説明を受け、ブリッジで基本作業のロープワークを体験

②双栄海運株式会社(内航海運業者)専務取締役による「船員の仕事」座学

・船員は食費不要、長期休暇や陸上の会社より高賃金というメリット
・デメリットは、陸上を離れた生活となり、洋上ではスマホの電波は途切れがち

◇海事施設見学会概要

・6月14日(火)、オーシャントランス株式会社の新船カーフェリー「フェリーびざん」(総トン数12,641トン)、マルイ運輸株式会社の冷蔵倉庫、北九州市立白銀中学校2年生52人が参加

◇見学内容

①フェリー見学会内容

・普段立ち入れないフェリーの各部所を見学
・NHK北九州放送局の取材があり、インタビューを受けた生徒は「海の仕事に興味を持った。」とコメント

②冷蔵倉庫見学会内容

・マイナス60℃の庫内で別世界を体験

◇福岡運輸支局からのメッセージ

参加した中学生へのアンケートでは、「知らない船の世界を見聞きすることが出来て良い体験をした。今後の進路選択に役立てたい。」「海事産業は日本の産業や私達の暮らしに欠くことが出来ない大切なものだと分かった。」等の意見も多く、一定程度の目的が達成できたのではないかと感じています。

今夏には小学校の先生を対象とした海事施設見学会を予定しており、先生方を通じてさらに児童たちへの海事思想の普及につなげるべく只今、鋭意準備中です。今後

も海への興味・関心を高めるための取組みを進め海事の人材育成に努めていきたいと考えています。

◇九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーはこちらの URL からどうぞ。
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_335_4.pdf
(福岡運輸支局)

◆クルーズ振興を九州の観光復興に！

～平成 28 年度九州クルーズ振興協議会総会開催～

◎九州クルーズ振興協議会（事務局：九州運輸局）が、「平成 28 年度九州クルーズ振興協議会総会」を開催しました。

◇総会概要

・6月22日（水）、福岡合同庁舎新館（福岡市博多区）、クルーズ会社・関係団体・地方自治体・国の機関の協議会会員 53 人が出席

◇総会内容

①挨拶（九州クルーズ振興協議会 田中浩二会長）

・熊本地震で被害を受けられた方々へのお見舞いとクルーズ船の九州寄港が熊本地震によって深刻な被害を受けた熊本・大分の観光産業の復興に向けた追い風になるものと期待

②挨拶（九州運輸局次長 濱田 哲）

・現在のクルーズ船の大量寄港を一時的なブームに終わらせることなく「九州の観光」の発展の起爆剤とすることが必要

③平成 27 年度事業報告

・報告どおり承認

④平成 28 年度事業計画（主なもの）

・セミナー、船内見学会の開催
・熊本地震に関しクルーズ振興を通じた九州の観光復興を支援するために九州の観光に関する正確な情報の発信
・インバウンド部会では、高品質クルーズ船の誘致及びクルーズ船受入環境の整備などへの取組

⑤役員改選

・九州クルーズ振興協議会の発足以来、13 年間の長きに亘り会長としてクルーズの普及活動の先頭に立って尽力いただいた九州旅客鉄道株式会社特別顧問の田中浩二会長が、本総会を持って退任。
・新会長には、西日本鉄道株式会社代表取締役会長であり、（公財）九州運輸振興センター代表理事の竹島和幸氏が就任。

⑥情報交換（報告）

・株式会社ジェイバ営業部長 西川量通氏「ポナンクルーズの魅力について」
・国土交通省海事局外航課国際海上輸送企画官 矢島優一「我が国のクルーズの動向について」

◇九州運輸局からのメッセージ

会員の皆様の積極的な活動により、昨年（平成 27 年）の下関を含む九州へのクルーズ船の寄港回数は 576 回と過去最高であり、前年の 315 回を大きく上回りました。また、全国トップ 10 に九州の 4 港（1 位博多、2 位長崎、7 位鹿児島、8 位佐世保）が入りました。

平成 28 年度も引き続きクルーズ振興に積極的に取り組み、九州の観光復興に大きく寄与するよう関係各位と連携して参りたい。

◇九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーはこちらの URL からどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_335_6.pdf

（海事振興部）

◆わが国観光施策の現状と今後の取り組み

～蝦名観光庁次長が九州運輸コロキウムで講演～

◎公益財団法人九州運輸振興センターが主催する「第 58 回九州運輸コロキウム」が 6 月 6 日に開催され、蝦名観光庁次長が講演を行いました。

◇概要

・6 月 6 日（月）、ハイアット・リージェンシー・福岡（福岡市博多区）、地方自治体・観光・交通事業者約 100 人が参加

◇内容

- ・主催者挨拶：田中浩二・（公財）九州運輸振興センター会長
- ・来賓挨拶：濱田 哲・九州運輸局次長
- ・講師：観光庁次長 蝦名邦晴
- ・テーマ：わが国観光施策の現状と今後の取り組み～観光をわが国の基幹産業へ～
「観光立国の意義」「観光を取り巻く現状」「外国人観光客増加による経済効果」「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」等で構成
- ・自由討論（意見交換）発言者：鶴田浩一郎氏（観光カリスマ、日本旅館協会九州支部連合会会長、ホテルニューツルタ社長）、町孝氏（ビジットジャパン大使、JR九州ビルマネジメント株式会社社長）

第 58 回九州運輸コロキウムの概要については、（公財）九州運輸振興センターのホームページをご覧ください。

<http://kyushu-transport.or.jp/news/>

◇九州運輸局からのメッセージ

5 月末には「九州の観光復興に向けての総合支援プログラム」が取り纏められ、応急的な対応から、当面の観光需要にむけた短期的対応、より魅力的な観光地域としての復興、発展を支援する中長期的対応を、政府一丸となって実行することとしていきます。九州運輸局も地方自治体や観光・交通事業者と連携し、運輸と観光で九州の元気を創っていきます。

◇九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーはこちらの URL からどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_335_5.pdf

（総務部 広報対策官）

◆九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》にアクセス！
～「今こそ、高速バスで行こう！キャンペーン」実施中～

福岡、熊本、大分の高速バス運行事業者は、福岡と大分、別府、湯布院、黒川温泉を結ぶ高速バス路線において、運賃割引キャンペーン「今こそ、高速バスで行こう！キャンペーン」を実施しています。ぜひご利用ください。

キャンペーン期間：平成28年6月20日(月)～平成28年7月15日(金)

対象路線：「福岡～大分線」、「福岡・福岡空港～別府線」、「福岡～別府・大分線(各停)」、「北九州～別府・大分線」、「福岡・福岡空港～湯布院線」、「福岡・福岡空港～黒川温泉線」

期間中運賃：全路線大人片道1,500円(小児・身障者は半額)

詳しくは、九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》「九州の観光掲示板」に掲載されています。こちらのURLからご覧ください。

<http://www.welcomekyushu.jp/kyushufukkou/informations/detail/44>

九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》「九州の観光掲示板」のページには、その他、九州観光周遊ドライブバスや阿蘇アクセスルートマップなど、いろんな観光情報が掲載されています。

さらに、明日7月1日(金)から順次販売がスタートする「九州ふっこう割」の詳細情報も逐次お知らせ予定となっています。

〈九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》「九州の観光掲示板」〉のURLはこちらから。

<http://www.welcomekyushu.jp/kyushufukkou/informations/?url=informations>
(観光部、自動車交通部)

◆「2016年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」作品募集中
～貿易を担う「海運」、「船」のことを調べた新聞、大募集～

前号でも紹介しました「ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」、公益財団法人日本海事広報協会では、海運(船によって旅客や貨物などを運ぶこと)と私たちの暮らしの関係、海運の仕組み、船の種類や港の役割、船や港で働く人々、海運の歴史などについて調べて制作した新聞を、今年も募集しています。

夏休みの自由研究のテーマにいかがでしょうか？

九州運輸局メールマガジン読者のみな様、ご自分のお子さんや知り合いの小中高校生、先生方にぜひご紹介ください。

国土交通省は「2016年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」を後援しています。

詳しくは次のURLをご覧ください。

<https://www.kaijipr.or.jp/jsj/>
(海事振興部 旅客課)

◆7月18日「海の日」は旅客船に乗って冒険しよう
～九州・下関の3航路で小学生運賃の無料サービス、2航路でオリジナルグッズをプレゼント～

海の日（7月18日）に「国内旅客船の小学生運賃を無料とするキャンペーン」が全国規模で実施されます。

このキャンペーンは、子どもたちに普段あまりなじみのない、国内のフェリー・遊覧船等の旅客船に乗って船旅を体験していただき、船への理解を深めていただくことを目的として平成25年から毎年実施しており、今年も全国で75航路、九州運輸局管内では3航路で小学生の旅客運賃が無料で乗船できます。他にも、2航路で乗船した小学生にオリジナルグッズのプレゼントがあります。

この機会にぜひご家族で旅客船に乗船して、海や自然と触れ合ってみてはいかがでしょうか？

詳しい情報は、一般社団法人日本旅客船協会のキャンペーンサイトをご覧ください。

<http://www.jships.or.jp/children/>

（海事振興部 旅客課）

◆平成28年度「国土と交通に関する図画コンクール」作品募集中

～鉄道や駅、自動車、船や港、観光地の様子などの図画を待っています～

国土交通省では、人々の生き生きとした暮らしを支え、安全・安心で豊かな経済社会を実現するための国土交通省の様々な取組について、明日を担う子供たちに理解を深めていただくきっかけとなることを期待し、毎年度、小学生を対象とした「国土と交通に関する図画コンクール」を実施しており、平成28年度も作品を募集しています。

詳しくは次のURLをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/page/h28zugacon_boshu.html

（総務部 広報対策官）

◆「第10回『私とみんてつ』小学生新聞コンクール」、作品募集は明日7月1日から

日本民営鉄道協会では、「第10回『私とみんてつ』小学生新聞コンクール」を開催し、7月1日（金）から9月30日（金）まで作品を募集します。

このコンクールは新聞作成を通じて子どもたちに鉄道に対する関心と理解を深めてもらうことを目的に開催されており、国土交通省も後援を行っています。

今回のテーマは「くらしと鉄道」「未来の鉄道」の2つから選択できます。

九州運輸局メールマガジン読者の皆さん、ご自分のお子さんや知り合いの子どもさんへ、そして小学校の先生方に、ぜひこのコンクールをご紹介します。

募集に関する詳細は次にURLからご覧ください。

<http://www.mintetsu.or.jp/association/news/News28-6.pdf>

（鉄道部 計画課）

◆「海フェスタ東三河」が愛知県で開催されます

～7月16日から31日まで～

昨年の夏、有明海沿岸の7市1町で開催され150万人を超える来場者で盛り上がった「海フェスタくまもと」、今年の夏は7月16日（土）～7月31日（日）までの16日間、愛知県豊橋市を中心とした東三河地区（メイン会場は三河港神野ふ頭）で、

「海フェスタ東三河」が開催されます。

「海フェスタ東三河」の専用ホームページはこちらの URL からどうぞ。

<http://www.umifesta-higashimikawa.jp/>

(総務部 広報対策官)

◆広報誌「国土交通」(2016.6~7)138号が発行されました～特集〈明日の日本を支える観光ビジョン「観光先進国」への取り組み〉～

国土交通省の広報誌「国土交通」138号が発行されました。

今号は特集をはじめ、施策紹介「軽井沢スキーバス事故対策検討委員会における再発防止策とりまとめ」も掲載されています。

無料の広報誌「国土交通」は隔月発行で、九州運輸局や運輸支局等に備置しているほか、国土交通本省のホームページにも掲載されています。

こちらの URL からご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/page/kouhoushi.html>

(総務部 広報対策官)

3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部より //

今年2月にシリアで大規模連続テロが、3月にもベルギーで同時多発テロが発生したことはまだ記憶に新しいところですが、今度はトルコの空港でテロが起き多くの死傷者が出ました。駅やバスターミナル、フェリーターミナル等では、テロ対策訓練や巡回警備、不審者・不審者発見に係る利用者の協力要請等が中断なく実施されています。訓練実施の報道や日々緊張感を持つてのテロ防止対策が、必ず抑止力に繋がるはずです。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_335_7.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。

編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
